

**「産業論」で専攻科生が
マナー講習を受講**
2011年5月27日

専攻科1年生が西京銀行の現役社員による「インターンシップマナー講習」を受講しました。「インターンシップ」は、県内の企業を中心として、6月から2ヶ月以上の長期に渡り実施され、さまざまな就業体験をすることで、社会が要求し期待する人物像を具体的に把握するなど、将来の地域を支える職業人としての心構えについて学ぶために実施されています。4月から始まった「産業論」では、講師として(株)トクヤマ徳山事業所 長白神誠一氏や、出光興産(株)徳山工場副工場長久保田忠義氏など、地域を代表する企業の経営者をお招きし、地域産業に関して講義していただきました。最終回では、本校が連携している西京銀行の現役社員により「インターンシップ」事前教育として、マナー講習を実施していただきました。

**徳山高専
NEWS**
2011.5~
2011.10

第37回

高専祭「Peece!!」開催
2011年10月29日~30日



10月29日、30日の2日間、学生会主催の最大イベントである高専祭が開催されました。第一体育館に設置された特設ステージ背面には、幅7.2m×高さ3.6mもの巨大なエコキャップアートが飾られ、趣向を凝らした音響・照明と相まってステージ企画に彩りを添えました。1日目の周南口ボコンに始まり、メイン企画のアトラクション「BEEEM」、ファッションショーなど、学生の創造力・実践力が目に見事に結実し、各企画とも多くの人で賑わっていました。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。

**機械電気工学科5年が連続優勝
クラスマッチ開催**
2011年10月7日

残暑残る10月7日に学生会主催のクラスマッチが本校で開催されました。例年2回行われるクラスマッチですが、今年は国体等の関係で1回限りの開催となり、学生会も企画の段階から気合が入っていました。新たな競技として、運動会では恒例の玉入れが行われ、教職員チームも思いの外入らない小さなカゴに向かって一生懸命夕玉を投げ続けましたが、学生の若いパワーに圧倒され予選敗退となりました(写真右)。その他にも、リレー、ソフトボール、サッカーなど7種目が行われ、総合優勝は昨年度の2度のクラスマッチの覇者、機械電気工学科5年生が連続優勝を果たしました。

**周南口ボコン2011
「ロボット製作教室」開催**
2011年8月27日~28日

8月27日、28日に本校テクノ・リフレッシュ教育センターにおいて、周南口ボコン2011「ロボット製作教室」を開催しました。始めに、これから製作するロボットの実演があり、コンテスト出場を目指す小・中学生は、期待に胸を膨らませていました(写真)。材料の切り出しから全て参加者本人が行うため、慣れない工具の使用も、本校学生の指導を受けながら完成に向けて一生懸命頑張りました。製作教室はこの日のほか、30日に岐山公民館、31日に御浜公民館、9月15日、16日には徳山小学校で開催されました。毎年恒例となった市民参加型ロボットコンテストも8回目を迎え、周南市との共催で10月29日に本校体育館で熱戦が繰り広げられました。

**情報電子工学科5年生が
創造演習の作品発表会**
2011年6月18日

情報電子工学科5年生の学生が、夢広場(銀座一番街ふれあいパーク「街あい」内)で作品発表会を行いました。マウスに替わる手袋型入力装置「マスターハンド」、関連先項目がすぐに参照できる電子ノート「デジタルのーと」、コンピュータの動作をみることが出来る「Tecシミュレータ」の3作品を展示しました。これらは、昨年度「創造演習」の授業の中でアイデアを出しあい、コンピュータ技術を活用して製作したものです。会場では、情報電子工学科の学科説明会も行い、教員が進路相談などに応じました。

**第2回JPM学生コンテストで
特別協賛会員賞を受賞**
2011年10月

全国の大学(大学院を含む)・高専に在籍する学生を対象に、(財)日本賃貸住宅管理協会が主催する「第2回JPM学生コンテスト」で、土木建築工学科5年で西尾研究室の長岡里穂さんと原舞香さんが特別協賛会員賞のSUUMO賞を受賞しました(応募数78点)。本コンペティションは「絆と住まい」をテーマに、人と人のコミュニケーションを深め、地域社会の活性化に資する賃貸住宅像を創造するというものです。このテーマに対して、2人は普段あまり有効に活用されていない各住戸の裏庭を共有し、地域のコミュニティスペースとすることで、住民間のきずなを深めることを提案しています。

校内見学会開催
2011年7月16日

7月に第1回校内見学会を開催しました。猛暑の中、県内外から中学生、保護者等あわせて約430名の来校者がありました。全体会で本校の概要説明を行った後、キャンパスを自由に探検、各学科の特色を生かした企画及び体験コーナー、クイズラリーや学生食堂体験など内容盛りだくさんで、どの企画も多くの参加者で賑わいました。また、学寮では、寮生会による居室や施設の見学会も行われました。

**徳山高専
テクノ・アカデミア総会を開催**
2011年6月13日

平成23年度徳山高専テクノ・アカデミア総会が、ホテルサンルート徳山で開催されました。総会、基調講演には、テクノ・アカデミア会員企業をはじめ、地元企業の方々と約140名にご参加いただきました。基調講演には、中国経済産業局地域経済部長藤岡幸氏、(独)国立高等専門学校機構理事五十嵐一男氏、(社)日機機械学会2005年度会長田口裕也氏の3名をお招きし、東日本大震災の被害状況や今後の対応、高専機構の貢献、震災から学ぶ人材育成などのお話をいただきました。また、講演に引き続き行われた情報交換会では、参加者どうしの交流がはかられました。

**科学研究費
助成事業研修会を開催**
2011年9月1日

教職員を対象に、科学研究費助成事業の研修会が本校メディアホールで開催されました。東京農工大学大学院工学部電気電子工学専攻助教田向 権氏をお招きし、「若手研究者の外部資金獲得作戦」という演題のもと講演を行っていただきました。ご自身の経験等を踏まえたうえで、科学研究費の獲得方法や高専教育について大変興味深いお話をしていただきました。

**3D-CADプロダクトデザインコンテストで
優秀賞、審査員特別賞**
2011年10月

日本工業大学が主催する第3回「3D-CADプロダクトデザインコンテスト」で、本校機械電気工学科3年生の藤本佑弥君と同2年生の林 敏也君が入賞しました。藤本君は自由デザイン部門「エコロジーに関する“おもしろいもの”」(応募25件)で優秀賞に、林君はテーマ部門「子供が乗る遊具」(応募111件)で審査員特別賞に輝きました。写真は10月16日に日本工業大学で開催された受賞式後の様子です。

**山口国体テニス競技の
出場権を得る**
2011年6月

国体テニス成年の部の山口県予選会が、6月25日・26日に宇部市で開催されました。これは、先に行われた全日本山口県予選会でのベスト16の選手がトーナメント方式でベスト4を決め、更に決勝リーグで2名の国体出場選手を決定するもので、土木建築工学科4年の寺本高史君は、決勝リーグで2位となり、国体の出場権を得ました。昨年の千葉国体少年の部にも県代表として出場しており、今回は更にレベルの高い成年の部での出場を目指したものです。山口国体テニス競技成年の部は、周南市の麒麟ビレッジ庭球場で10月1日~5日に開催され、本校テニス部からも役員や補助員として支援をしました。

**平成23年度
第1回顧問会議を開催**
2011年8月8日

平成23年度第1回顧問会議を開催しました。この会議は徳山高専の教育・研究活動等に対して外部の有識者からの検証を受けるために開催されたもので、7名の顧問が出席しました。徳山高専年度計画の概要、活動状況点検結果と今後の課題、英語力向上の取り組み、エンジニアリング・デザイン教育の方法と今後の課題についての説明に対し、顧問からは、活動報告への高い評価や様々な視点から忌憚のない提言があり、活発な意見交換が行われました。

**国立高等専門学校
教員顕彰(理事長賞)受賞**
2011年8月

8月23日から開催された全国高専教育フォーラムにおいて、平成22年度国立高等専門学校教員顕彰式が併せて開催され、土木建築工学科佐賀孝徳教授に国立高等専門学校機構理事長賞が授与されました。この賞は国立高等専門学校における教育活動、学生生活指導、地域社会への貢献等において顕著な功績が認められた者を、各校から推薦された教員の中から選考するもので、今回は「こころの成長に主眼をおいた教育実践とその展開」による幅広い学生指導の実績が高く評価されての受賞となりました。写真は、鹿児島で行われた表彰式の様子です。(前列一番左が佐賀教授)

